

カナダ金融政策（2022年9月）

0.75%ポイントの利上げで政策金利は引き締め的な領域に

2022年9月8日

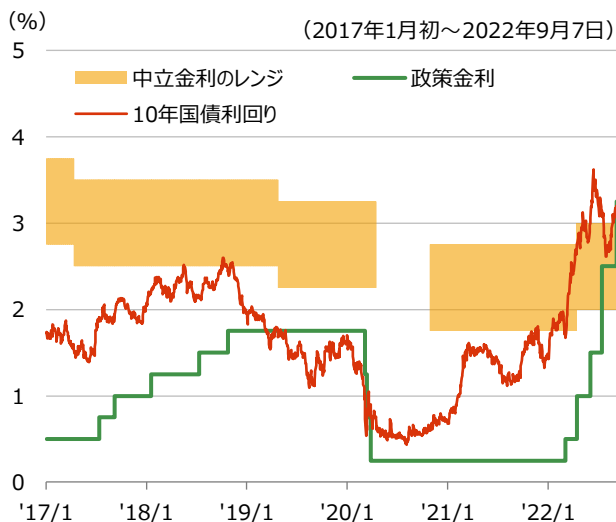
インフレ抑制の手応えが出始め、利上げサイクルは微調整の段階へ

カナダ銀行は9月7日（現地、以下同様）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を2.50%から3.25%に引き上げることを決定しました。利上げ幅は前回の1%ポイントから0.75%ポイントに縮小しましたが、今回を含めて今年3月から計5回の利上げにより、政策金利はカナダ銀行が推計する中立金利のレンジ（2～3%）を上回り、景気に対して引き締め的な領域に入ってきたと言えます。

声明文では、引き続き足元の高インフレに対する警戒感が示されました。消費者物価指数（前年同月比）は6月の+8.1%から7月に+7.6%へ鈍化したものの、ガソリンを除けば加速しており、特にサービスにおいてインフレ圧力が広がっているとの認識です。また、カナダ銀行の調査では短期のインフレ期待が高いままであり、この状態が続けば高インフレが定着するリスクが高まると指摘しています。一方、カナダ経済は需要が供給を上回る状態にあるものの、「金融引き締めによって需要が抑制され供給に一致し始めている」とインフレ抑制の兆候が出始めている点にも言及しています。

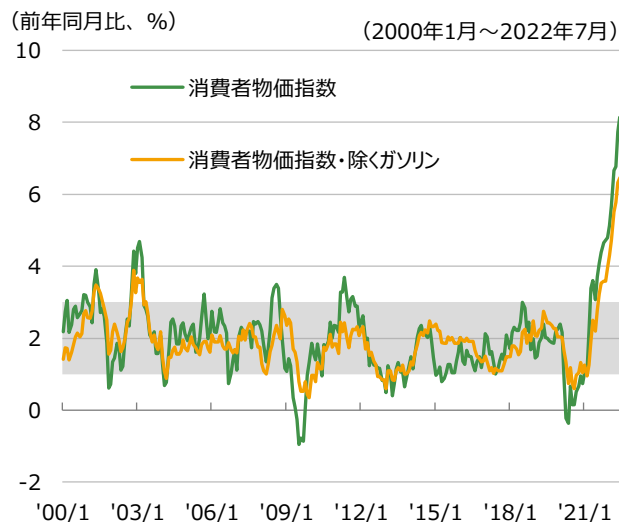
今後の方針については「更に政策金利を引き上げる必要があると判断している」と利上げ継続の意向が示されましたが、「金融引き締め効果が経済全体に作用する中、インフレを目標に戻すには追加利上げがどの程度必要か評価する」としており、次回は利上げ幅の更なる縮小が想定されます。経済の軟着陸を実現しつつインフレを沈静化させるために、利上げサイクルは微調整の段階に入ってくると言えそうです。

カナダの各金利



※中立金利はカナダ銀行の推計値（新型コロナウイルス発生直後は一時的に公表が停止されていた）（出所）カナダ銀行、ブルームバーグ

カナダの消費者物価指数



※陰影部はカナダ銀行のインフレ目標レンジ（出所）カナダ統計局、カナダ銀行

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management